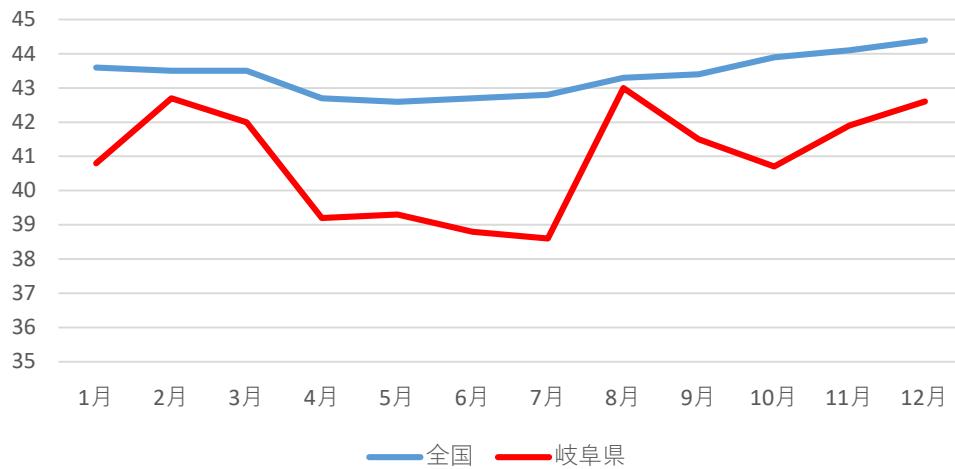


『岐阜県の景気動向について』商工労働部「ぎふ経済レポート」等結果報告

令和7年12月時点での県内の景気動向等が公開されましたのでお知らせします。

令和7年度景気DI（岐阜県）



県内企業の景気DIは2ヶ月連続で改善。

東海4県では3ヶ月連続最下位だが全国順位は29位に上昇した。

業界別ではインバウンドや年末需要によるプラスの声があった一方で、「新築・分譲の新規案件がない」、「生産調整で減産しているユーザーが多い」等厳しい声や設備投資の鈍さを指摘する向きがあった。物価上昇に賃金の伸びが追い付いていない。日銀の利上げ決定に加え海外情勢の不安定化から地政学的リスクが高まる可能性もあり景況感が持続的に上向く材料は乏しい。

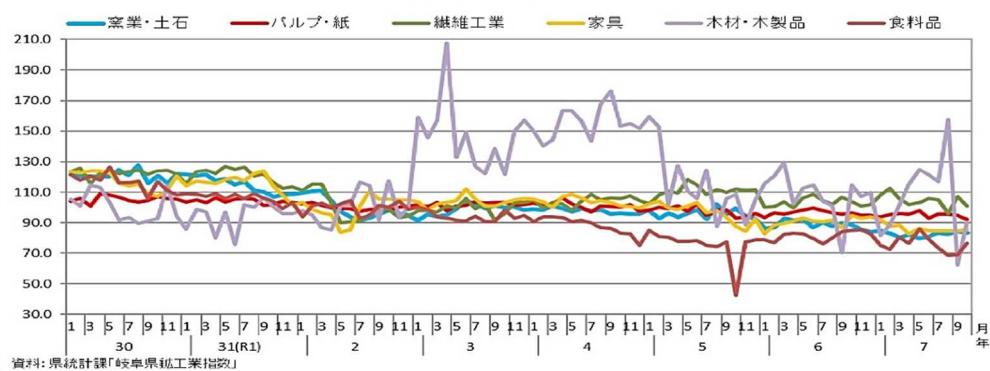
〈製造業〉

航空機部品の売上が回復してきた。主要取引先からの急ぎの受注が増えている（輸送用機械器具）。大手自動車メーカーが生産台数を下方修正し、ここ数ヶ月の堅調具合からすると若干弱くなった印象。

新商品が好調で增收増益（木工）。

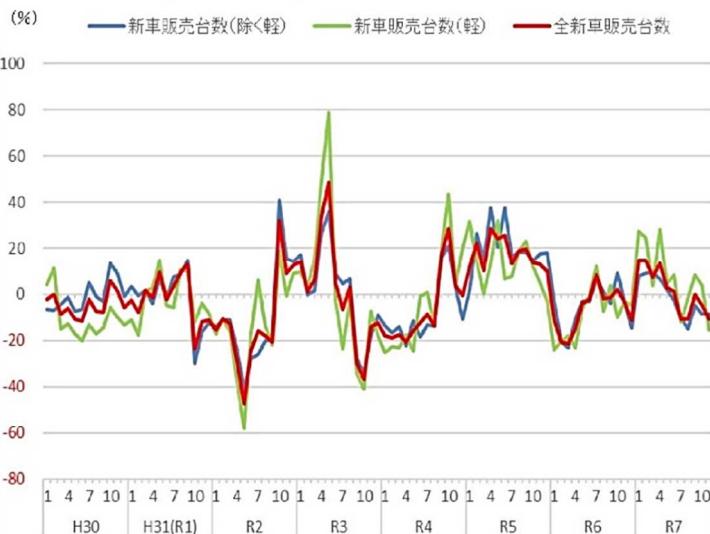
地場産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指標」

新車販売台数増減率(対前年同月比)



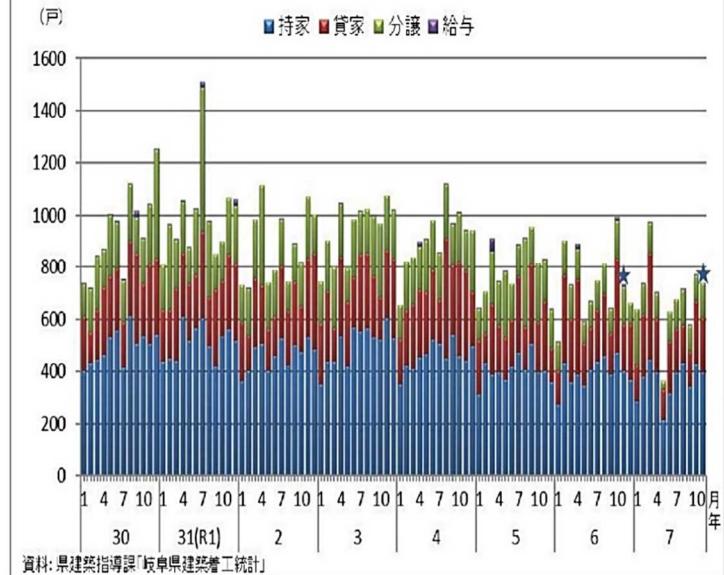
資料: 県統計課、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ

〈自動車産業〉

- 11月の新車販売台数（除く軽）は、前年同月比▲8.5%と6ヶ月連続で前年同月を下回った。

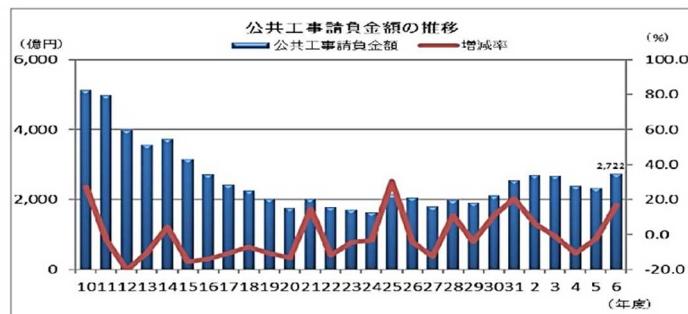
新設住宅着工戸数の推移

(戸)



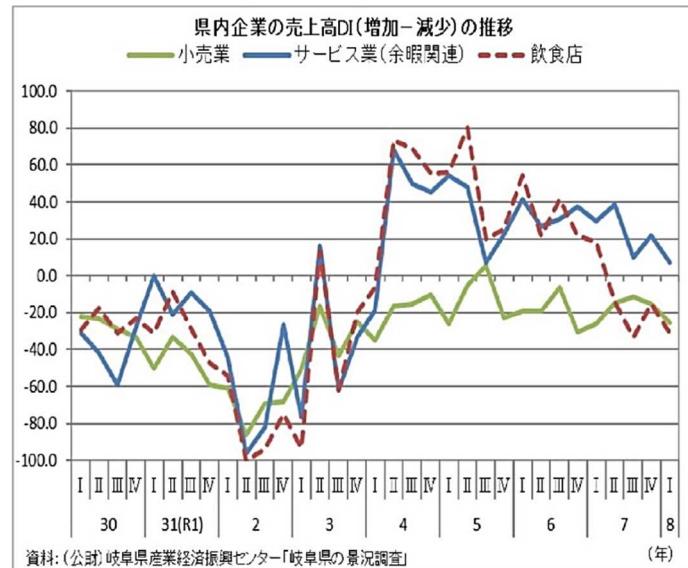
〈建築業〉

- 2月の新築の契約数は例年と変わりないが、長期的にながらかに落ちてきていると感じる（住宅）。



〈建設業〉

物価上昇が止まらないことに加え、公共工事の減少または遅延が影響し、売上は前年比の8.1%程度に減少。



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

